

保健師コラム 9月号

(2025 年 9 月)

はいたい！産業保健専門職（保健師）の千葉です。

ある人事担当者さんの言葉です。

「この前、Aさんから“来週から復職します”って診断書が急に届いたんです。

でも、全く状況が分からなくて…どう対応したらよいか困っています。」

皆さんも、似たような経験はありませんか？

「突然“来週から復職します”という診断書が届いて、対応に困った」

「復職はしたものの、体調が悪そう…」

「復職支援、職場としてどう対応したらよいか分からない…」

人事労務担当者、保健師の皆さんにとって、メンタルヘルス不調者の休職・復職対応は悩むことの多いテーマの一つかもしれません。

従業員が療養に入るとき、「どう関わって良いか分からない…」という気持ちから、結果的に“十分にサポート出来ない状況”になってしまうことがあります。

逆に「主治医の判断だけが頼り」と考え、会社としては何も手を打てないままになってしまうことも。

実は、復職支援をスムーズに進めるカギは休職前の最初の段階にあります。

最初に「会社として伝えること」を整理しておくだけで、その後の流れがずいぶん変わってきます。

・「休職から復職へのステップを、どの様に説明するか」

・「会社として何を大切にサポートするか」

ここを共有化しておくことで、本人も安心できて、職場側も迷わず対応できるようになるんです。

そこで、今回、産業保健に関わる皆さんのお悩みを解消する研修を企画しました！

特別プログラム「業務遂行能力に応じたメンタルヘルス不調者の復職支援」

『健康管理は従業員にまかせなさい ―労務管理によるメンタルヘルス対策の極意』の著者陣による全 4 回シリーズの実践型研修を開催します！

・動画で事前学習をしつつ、講師へ具体的な質問が可能

・人事労務や産業保健の現場で「明日から使える」ヒントが満載

10 月からの研修は、その他にも、産業メンタルヘルスなど実践に役立つ研修が盛りだくさんです♪

「復職支援は難しい」と担当者一人で抱え込まないで、一緒に学びながら、働く人の“安心の仕組み”を考えていきましょう！

(沖縄産業保健総合支援センター 産業保健専門職 千葉 千尋)